

11/24 (日) 3:00pm チャペルコンサート vol.54

入場無料

Jazz Concert

冬の近づいた日曜の午後、おしゃれなジャズのサウンドをお楽しみください!



大久保和慧 (ピアノ)

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ジャズピアノをMark Soskin, Mike LeDonne, Norman Simmonsらに師事。クラシック、ジャズ、ゴスペル、さらにパイプオルガン奏者の一面を持ち、多岐に渡るコンサート活動を展開中。ゴスペルクワイアディレクターとして100名を超えるクワイアメンバーを束ねている。華麗な音色で変幻自在な演奏を行うマルチミュージシャン。



齊藤尚男 (ベース)

ジャズ、ゴスペル、R&Bなどの幅広いジャンルを演奏。ポップスやロックのアレンジなどに取り組む。ニューヨークにてコントラバスを学び、William McEvoy氏に師事。帰国後ジャズベーシストの石橋敬一氏に師事と同時にジャズピアニストの竹中真氏と共演を開始。イタリアのカリアリ歌劇場管弦楽団首席トランペット奏者ヴィニー・アレグリーニと共演。



飯森大輔 (ドラム)

2005年音楽誌合同主催のコンテスト、ドラム部門にてグランプリ受賞後、短期渡米。GLAYなどのプロデューサーで知られた故・佐久間正英氏の作品をはじめ、様々なレコーディング・ライブに参加。最近では元パークリー音楽大学准教授ピアニスト竹中真氏、JAZZ界大御所ベーシスト石橋敬一氏、MISIAなどをサポートしたベーシスト日野JINO賢二と共演。



サファイアはるこ (サクソ)

ソプラノサクソ、アルトサクソ、テナーサクソ、バリトンサクソ、フルートを演奏するマルチプレイヤー。現在、逆瀬川にあるミュージックバーGKのハウス奏者として活躍中。宝塚アカデミー音楽団をはじめ、ジャズビッグバンド、サクソアンサンブル、ボサノバユニット、ロックバンド、アニメソングバンドなどジャンルを問わず活動している。

ご予約ください! 教会のクリスマス

12/22 (日)

10:30am クリスマス礼拝

1:30pm キャンドルライトサービス

12/24 (火)

5:00pm 逆瀬川駅前キャロリング

6:30pm ベアンテ・ボーマン
チェロコンサート

教会のひとこま

運動会

14回目になる運動会。台風で危ぶまれましたが、前日の雨もすっかり上がり、今年も無事に開催できました。上は90代から下は2歳まで、大人も子どももみんな元気いっぱい、爽やかな汗を流しました。



フラフープリレー



玉入れ



パン食い競争



リレー

Gloryカレンダー発売!

Gloryのエッセーと写真とともに、2020年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますように。



一部1,000円です。購入をご希望の方はご連絡ください。郵送いたします。

*写真は昨年のカレンダーです。

世界食料デー宝塚大会が終わりました

世界食料デー宝塚大会が、今年も開かれました。10年以上南米ボリビアで働くスタッフを通して、現地の過酷な状況を知り、世界が抱える食料問題についての講演を聞きました。「わたしから始める、世界が変わる」。国は違っても同じ地球に住む家族の一員として、私たちにできることは何だろうか…。改めてそんなチャレンジが投げかけられた、貴重なひと時でした。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

でも配信中心!

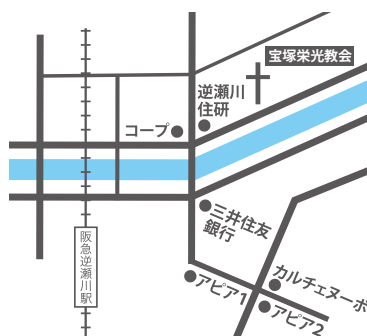
ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



苦しみの中で学ぶこと

人は誰でも幸せでありたいと願います。幸福を追求することは、日本国憲法でも保障されている大切な権利です。しかし、とすると、自分だけの幸せを求めて、他者を顧みないということになる場合があります。マスコミで報道される事件を見ていると、犯罪者の中に、自分が満足さえすれば、他人がどんなに傷つこうと苦しもうと構わない、などという自己中心的な生き方が見え隠れします。

本当の幸せとは何でしょうか。自分の欲望、願望が達成されることでしょうか。聖書の言葉に耳を傾けてみましょう。「苦しみにあったことは私にとって幸せでした。それにより私はあなたのおきてを学びました。」(詩篇119篇71節)

そう安易には言えない、ずっしりと重みのある言葉ですね。誰でも苦しみは避けたいと願います。そして、言われ無き苦しみにあうと、“なぜ私がこんな目にあわなければならないのか”と不満をぶちまけたくなるのが普通でしょう。しかし、苦難によって練り鍛えら

れ、生けるまことの神に出会い、生きる喜びを知るようになることもあるのです。

私は、最大の苦難にあったお方を知っています。イエス・キリストです。キリストは、今からおおよそ二千年前にこの世に生まれ、33年半の短い生涯の末、十字架につけられて死なれました。

十字架は、当時極悪人がつけられるものでした。その十字架に、神のひとり子であり、罪のないお方だったキリストがつけられて死なれたのです。それは私たちの罪のためでした。キリストは、罪のために滅びゆく私たちの身代わりに十字架につけられ、私たちが滅びなくてもよいようにしてくださったのです。

もしあなたが苦しみの中におられるなら、私たちのために苦難にあってくださいキリストを知っていただきたいのです。そして、後になって、あの苦しみが、神様のおきて、つまり神様のお心を学ぶためのものであり、私にとって良かったのだと言うことができる人になっていただきたいと、心から願います。



「 晩秋の柿 」

11月に入ると 日が短くなる時期にさしかかっている
こんな晩秋の青空は はるか遠くて 高い
この空を背景にして 柿の木を見上げる
燈色の柿の実の頬が つややかに光っている

やがて 日が沈み 夕暮れとなる その前に
しばらく 柿の木の下で立ち止まり 佇む
この時を惜しんで この時をいつくしむかのようにして・・・

地上に直立している 柿の木の幹から
四方に延ばした 枝の一節一節から
色褪せてきている 葉っぱの一枚一枚から
今 たわわに実る 柿の実のひとつひとつから
それぞれが伝えようとしている 言葉のようなもの
その声が聴こえてくるように思っ 耳と心をじっと傾けてみた

暮れゆく秋の日の 少しの時間を
晩秋の静かな風の中に 高々と立つ柿の木と
共に過ごしたひとときであった

それから 天使はわたしに
「書き記せ 小羊の婚宴に招かれている者たちは 幸いだ」と言い
また「これは 神の真実の言葉である」とも言った

ヨハネの黙示録19章 (聖書)